

木造十一面観音菩薩立像 1 軀

木造十一面観音菩薩立像

もくぞうじゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品／彫刻

所有者

宗教法人 西之坊

所在地

住吉区上住吉二丁目

紹介



木造十一面観音菩薩立像

住吉大社の東に寺地を占める真言宗寺院の西之坊は、住吉大社と密接な関係にあった大寺院天野谷寺の一坊であったと伝える。本像は短い体躯と大きい頭部に特色がある一木造像で、体内に木心を残し、神木のような特別な木を材として造られたと考えられる三尺の立像である。製作年代は平安時代後期にさかのぼる可能性も考えられる古像である。